

山口新聞

平成28年4月22日(金)

NO.199



農地・水・環境
守ろう
地域の手で



連帯感生まれ活動に協力

車地北環境保全会(宇部市)

199

上会員の皆さん
下会員が設置した
防護柵



当会は宇部市北部の山間部に位置し、国道2号と厚東川に面してのどかな農村が広がる。2014年に車地北土地改良区(車地・下山中・荒瀬の3集落)をもとに、農地面積42畝、会員59人の規模で発足した。

それまでため池、水路の草刈り、農道の維持管理などは、住民の高齢化もあり大変苦労していた。当会の発足で会員同士の連帯感が生まれ、農業の維持に希望を持って、日々作業できるようにになった。

また、景観形成活動の一環としてコスモスの種まきをした。1年目なので、花はちらほらしか咲かなかったが、2、3年後にはきれいなコスモス畑に生まれ変わるのを会員の皆さんが楽しみにしている。

(書記・会計、綿部謙造)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】代表||藤村武昭▽会員||59人、農家(58戸)、里山ビオトープ二俣瀬▽設立||2014年10月10日▽連絡先||宇部市車地95の5、綿部謙造さん、電話090・3173・3034